



清水さん兄弟は夏休みに約2週間かけ発表資料を作成。全国から601点の応募があり、最優秀賞1作品に次ぐ優秀賞4作品の1つに選ばれました

### 名水とスポーツのコラボでPR アイデアコンテストで優秀賞

11月8日、あなたの地域の魅力を広げるアイデアプレゼンコンテストで優秀賞を受賞した三松小の清水煌煌さん、昊晟さん兄弟が市長を訪問しました。名水とスポーツを掛け合わせ給用水の水を製造し、小林をPRすることを提案。煌煌さんは「アイデアをまとめるのは大変だったけど、挑戦してよかった」と話していました。

### (株)APP 事業拡大で企業立地協定

10月31日、株式会社APP（野元宏二代表取締役）と市は立地協定を締結しました。同社は菓子製造会社で、県農産品を活用した洋菓子製造など事業拡大のため既存建物を増築。これにより新たに10人以上の雇用創出が期待されています。



### 五穀豊穡を祝いほぜまつり開催

11月3日、2018すきほぜまつりが須木地区体育館で開催されました。五穀豊穡を祝うまつりに約800人が来場。子どもたちによるほぜっ子相撲、赤ちゃん土俵入り、マグロ解体ショーなどが催され多くの家族連れで賑わいました。



### 農業クラブの全国大会2部門で 小林秀峰高校の生徒が大臣賞

11月2日、日本学校農業クラブ全国大会で小林秀峰高校の柳田聖也さんが意見発表で農林水産大臣賞、森永華奈さんが農業鑑定競技会で文部科学大臣賞を受賞し市長に報告しました。森永さんは「目標であるガーデニングの仕事を目標として大学に進学し、さらに知識を深めたい」と話していました。



同大会は日ごろのクラブ活動の成果を5つの発表・競技に分かれて競う大会。同時に2部門で最高賞の大臣賞を受賞するのは県内初の快挙です

### トランポリン全国大会結果を報告

10月31日、小川結生さんが全日本トランポリン選手権大会の結果を市長に報告しました。同大会で12位の成績を収めた小川さん。「良い演技ができたが全力を出し切れなかった。今後は日本代表を目指します」と話していました。



### 戦没者の遺徳とその遺族をねぎらう

11月2日、忠霊塔前広場で慰霊の式が行われました。同式には、戦没者の遺族ら約200人が参列。小林小6年の長野妃佳了さんと野尻中2年の切畑凛香さんの作文朗読などを実施。式終了後、遺族は忠霊塔に手を合わせたり花をたむけたりしていました。



写真左から樋ノ口さんと坂元さん。樋ノ口さんは「身に余る光栄です。今後も引き締め、より一層精進していきます」と話していました

### 平成30年秋の叙勲・褒章 樋ノ口さんと坂元さんが受章

11月3日、秋の叙勲・褒章が発表され、樋ノ口正光さんが藍綬褒章、坂元忠雄さんが瑞宝単光章を受章しました。樋ノ口さんは、霧島連山の登山道の点検整備や自然保護活動などに対する長年にわたる功績。坂元さんは、職業訓練会会長として、人材育成や訓練生の募集活動など同会運営に対する尽力が認められての受章です。

### 小林看護医療専門学校で誓いの式

10月26日、小林看護医療専門学校で「誓いの式」が開催されました。式を迎えたのは、看護学科、医療秘書学科の1年生43人。学生らは、誓いのことばとして、医療職を志すものとしての誇りと自覚を宣誓。保護者や来賓の前で、その決意を新たにしました。



### ホテル保護活動で知事表彰

10月30日、市観光協会が美しい宮崎づくり知事表彰で水と緑の景観賞を受賞しました。出の山のホテル保護活動などが評価され受賞。同協会の吉留高志会長は「市民と共にやってきた活動が評価されうれしい。今後も継続していきたい」と話していました。



### 小林青年会議所が創立50周年 KITTO 小林前に時計台を設置

10月26日、小林青年会議所が創立50周年を記念してKITTO 小林前にモニュメント時計台を寄贈しました。これまでの地域に根差して活動してきた歴史と、これからの50年への思いを形にしたもの。坂口和也理事長は「新たな一歩を踏み出し、さまざまなことにチャレンジしていきます」と話していました。



時計台は会議所や市民のつながりをツタで表現し、時計の下にはコスモスの花をあしらうなど、未来に向かって挑戦する思いを込めています

### 小林高同窓会実行委員会が玩具を寄贈

10月24日、小林高校第47回卒業生同窓会実行委員会がNPO法人子育て支援協会にままごとキッチン1台を寄贈しました。小川真実行委員長は「木の温かみを感じながら、いっぱい遊んでもらえればうれしいです」と話していました。



### 南西四区の取組みを研修大会で説明

10月26日、27日に県自治会連合会研修大会が延岡市で行われました。大会では南西四区下沖秀人区長が市の代表として登壇。地区で行っている自主防災の取組みや世代間交流の重要性、日本に2か所しかない分水嶺などを発表しました。





12月末まで設置の予定。作品名は「HANA<sup>3</sup>～花・華・話～」。花によってもたらされる華やかで話の弾む明るい生活という思いが込められています

### 市役所玄関に西諸の花を使った フォトスポットが設置

11月15日、西諸地区花き振興会がフラワーディスプレイを市役所玄関横に設置しました。クリスマスリースやプレゼント箱をイメージした作品で、製作したのは南九州大学の学生ら6人。同大学の羽根知広さんは「フォトスポットとなっているので、多くの人に写真を撮って楽しんでもらいたい」と話していました。

### 坂口建設(株)と(株)三共がランドセル寄贈

11月9日、坂口建設(株)と(株)三共が市にランドセルと折り畳み傘4セットを寄贈しました。坂口建設の松岡重孝代表取締役は「子どもたちが笑顔になってくれればうれしい。今年で3回目となりますが、これからも続けていきたい」と話していました。



### 小林中が全国中学駅伝大会に出場

11月16日、小林中学校陸上駅伝部8人が駅伝競技での九州大会と全国大会出場を市長に報告しました。県大会で一区を走った原田紗希さんは「チームの状態はいい。大会では上位入賞を目指します」と抱負を話していました。



### 教育充実とまちづくりに貢献 小林秀峰高に特別後援会が設立

11月13日、小林秀峰高校特別後援会設立総会が行われました。開校10周年を機に、教育の充実発展や地域活性化を図ることを目的に設立。全国大会で活躍するクラブや部活動を支援します。発起人代表の新田哲也さんは「伝統を守るため生徒たちを支援し、ふるさとの情報発信やまちづくりに貢献したい」と話していました。



設立総会では西諸3市町の首長はじめ関係者ら51人が出席。規約の制定や事業計画などが審議され、今後の活動について意見を交わしました

### 看護の道へ。准看護学校で戴帽式

11月9日、小林准看護学校の戴帽式がガーデンベルズ小林で行われました。今回晴れて戴帽されたのは、1年生19人。代表して芝原菜月さんが「キャンドルの火のように明るく温かな心を持ち看護の道を進んでいきます」と決意を述べました。



### 華麗な新体操演技で観客を魅了

11月10日、新体操演技会が開催されました。全国レベルの演技を見ようと約1600人が来場。選手はロープや棒を使った個人演技や、息の合ったダイナミックな団体演技を披露。演技が終わると、客席から大きな拍手と歓声が送られました。



2



3

Photo1 昨年からはまった文化財かるた大会。子どもたちは遊びながら小林の歴史について学んでいました。2 市民体育館に展示された作品を鑑賞する来場者。3 文化会館で行われたお茶会。

### ハーブを五感で楽しむ一日に

11月4日、ハーブ祭 in NOJIRI が薬草・地域作物センターでありました。会場には、家族連れなど約1200人が来場。地元産ハーブを使ったオリジナルティー「jolie peau」の限定試飲・販売やハーブウォーター作り体験などが行われました。



### シルバーフェスタの益金を寄付

11月8日、10月に開催された「第15回シルバーフェスタ」の実行委員会がその益金10万円を市に寄付しました。山崎政志実行委員長は「シルバー人材センターでは、これからも市民の生活に寄り添った活動をしていきたい」と話していました。



### 地域の力で共に生きる社会を

11月3日、まちづくり福祉セミナーが開催されました。ケアタウン総合研究所の高室成幸所長が登壇し、災害時を例に地域で共に生きる社会の重要性を解説。高室所長は「全ての人が地域の支え手・担い手である」と訴えていました。



### 西小林野球スポ少が県大会で準優勝

11月7日、西小林野球スポーツ少年団が、10月末に開催された県大会で準優勝したことを市長に報告しました。大迫琉唯主将は「最後の大会でチーム一丸となって結果を残せて良かった。中学校でもこの経験を生かしたい」と話していました。

